

2019 年度

事業計画



社会福祉法人

あじさいの家

目次

1、あじさいの家 基本理念	1
1)目的	1
2)運営方針	1
3)重点項目	1
2、日課	1
3、運営組織図及び担当	2
4、年間行事計画	3.4
5、利用者及び職員概況一覧	5.6
6、業務内容及び活動内容	7
◎運営	7
〈総務部〉	7
◎広報	7
◎施設管理	7
◎防災管理	7
◎車両管理	7
〈支援部〉	7
◎行事	7
◎交流	8
◎実習	8
◎安全・防災	8
◎医務・健康	8
◎研修	8
【生活介護】	8
◎活動	8
○創	8
○楽	9
○動	9
○人形劇	9
【日中一時支援】	9
【短期入所】	9
〈事務部〉	9
◎庶務	9
◎経理	9

1、あじさいの家 基本理念

1)目的

障がいの程度にかかわらず、一人ひとりが日々充実して過ごし、生活の幅を広げながら、安心して地域生活を送ることができるよう支援することを目的とする。

2)運営方針

- ・ 日常生活において、生きがいを持って豊かに暮らすことができるように支援する。
- ・ 安全で健康的な生活を送ることができるよう支援する。
- ・ 一人ひとりの個性が発揮できるよう支援する。

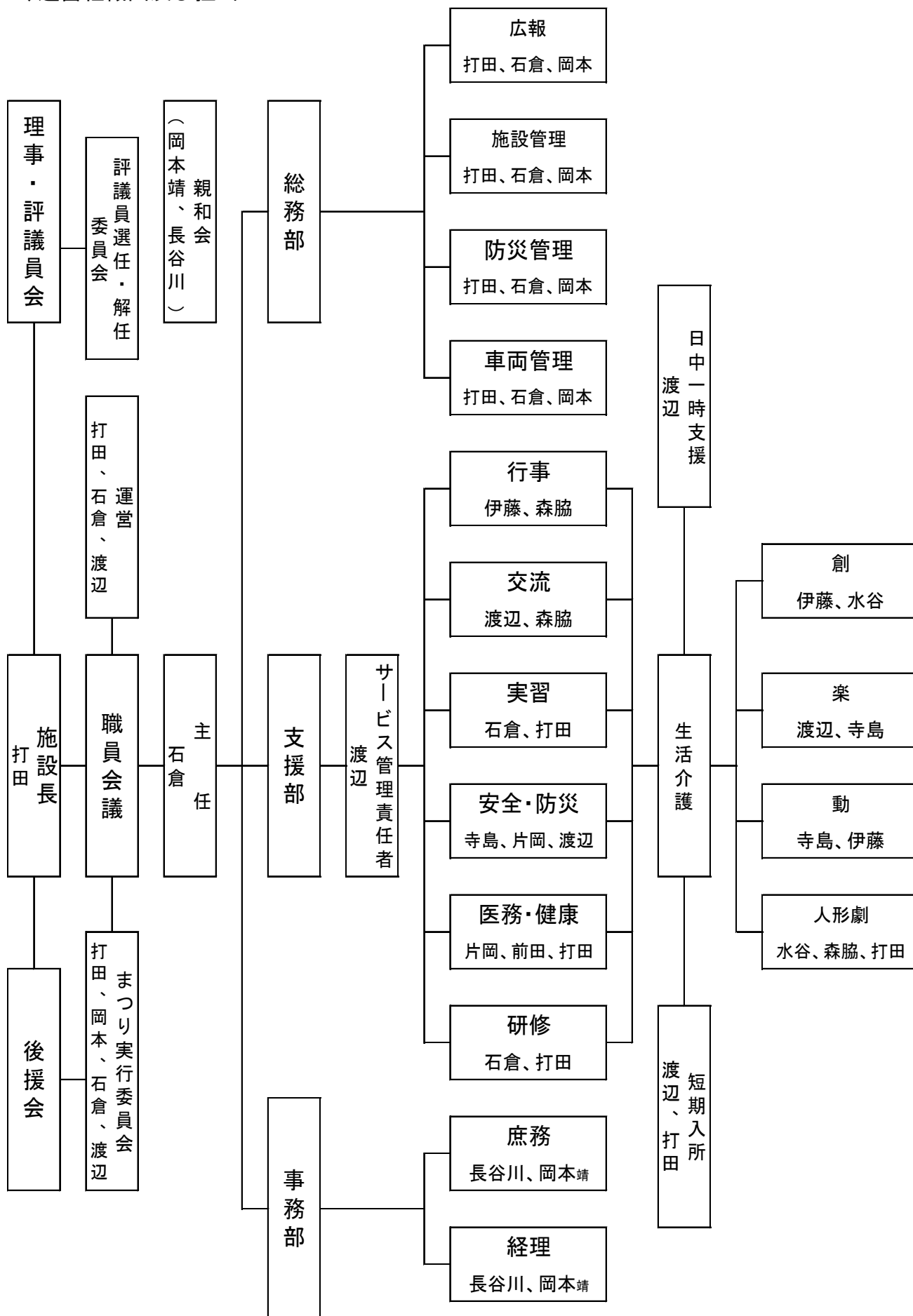
3)重点項目

- ・ 一人ひとりの個性を尊重し、自己表現できる場や機会を設定する。
- ・ 一人ひとりの障がいの特性を的確に把握し、体調の変化には絶えず留意する。
- ・ 地域とのかかわりを大切にし、社会資源を有効に使ったり、地域に積極的に出かけたり、いろいろな体験をすることで生活の幅を広げる。
- ・ 居宅生活が安心して送れるよう支援する。

2、日課

8:30	職員打ち合わせ	14:00	午後の活動
8:40	送迎及び準備	15:15	片付け、帰宅準備
9:30	活動準備	15:45	帰りの会
10:00	朝の会	16:00	帰宅(送迎)
10:30	午前の活動	16:00	記録(清掃)
11:40	昼食準備	16:30	会議(活動準備)
12:00	昼食、休憩	17:30	帰宅

3、運営組織図及び担当



4、年間行事予定

	法人関係	施設運営関係	行 事	交 流
4月	辞令交付(1)	職員会議(16)	なばなの里 イルミネーション見学(26)	マスの放流(3)
5月	あじさいの家総会(18) 第2,3回まつり実行委員会 (2、18) 法人監査(30)	安全点検(17) 職員会議(14) ケース会議(14) あじさいの家まつり(26)		
6月	法人理事会(6) 評議員会(21)	安全点検(7) 職員会議(18) ケース会議	誕生会	きらら学園小学部 1グループ(26)
7月		安全点検(5) 職員会議	誕生会 七夕会	
8月		安全点検(2) 職員会議 ケース会議	誕生会	ジュニアアンサンブル(23)
9月		安全点検(6) 職員会議 ケース会議		
10月	法人理事会 評議員会	安全点検(4) 職員会議 ケース会議 避難訓練		いなべ市市民感謝祭
11月	第4回まつり実行委員会	安全点検(1) 職員会議 ケース会議 あじさいの家餅つき	芋ほり 誕生会	いなべ市障害者 スポーツ交流会
12月		安全点検(6) 職員会議 ケース会議	クリスマス会 誕生会 お楽しみ会	いなべ市民 人権フェスティバル
1月		安全点検(10) 職員会議 ケース会議	誕生会 初詣	
2月		安全点検(7) 職員会議 ケース会議	節分 W成人式	地域交流会
3月	法人理事会 評議員会	安全点検(6) 職員会議 ケース会議 避難訓練	ひな祭り 誕生会	

	実習	医務・健康	研修	人形劇
4月		体重測定(15～)		
5月	員弁中職場体験(15～17) ユマニテク実習(29～31)	体重測定(13～)		
6月		体重測定(10～)	施設内研修	フレンテ祭り(2) あじさいの家にて (きらら学園交流)(26)
7月	いなべ市職員施設研修	体重測定(8～)	きらら学園研修会	
8月		体重測定(5～)	飯田人形劇 フェスティバル(3.4) 古川PT訓練研修会(6) 多田T訓練研修会(20) 静的弛緩誘導法研修	
9月		体重測定(9～) 健康診断	いたみフォーラム(14)	
10月		体重測定(7～)	施設内研修	
11月	北勢中学校職場体験実習 (11～13)	体重測定(11～)	古川PT訓練研修会(5)	
12月		体重測定(9～)	多田T訓練研修(23)	
1月		体重測定(14～)		
2月		体重測定(10～)		
3月		体重測定(9～)		三里保育園(3)

5、利用者及び職員概況一覧

1、利用者の状況

2019年5月現在

(1) 通所状況

利用者定員 20名

利用者実数 19名

(2) 入退所状況

2019年度新規利用者 男性 0名 女性 0名

平成30年度末退所者 男性 1名 女性 1名

(3) 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	1日平均	昨年度
男	11	11	10	13	12	11.4人	12.2人
女	3	2	2	4	2	2.6人	2.6人
計	14	13	12	17	14	14人	14.8人

(4) 通所市町

市町	いなべ市	東員町	桑名市	四日市市	菰野町	計
男	8	3	3	0	1	15
女	2	0	0	2	0	4
計	10	3	3	2	1	19

(5) 年齢別在所者数

年齢	18～19	20～29	30～39	40～49	50～	計	平均年齢
男	0	7	5	1	2	15	32.2歳
女	0	0	3	1	0	4	37.8歳
計	0	7	8	2	2	19	35歳

(6) 施設在所者数

平均在席年数 10.6年

在所年数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	計
男	0	0	0	2	7	6	15
女	0	0	0	1	1	2	4
計	0	0	0	3	8	8	19

(7) 障害状況(身体障害者手帳により重複あり)

障害状況	男	女	計
脳性まひ	3		3
運動機能障害	5		5
四肢機能障害	1	1	2
四肢体幹機能障害	4		4
四肢機能全廃	1		1
体幹機能障害		2	2
上肢機能障害		1	1
移動障害		1	1
心臓機能障害	1		1
言語機能障害		1	1
てんかん	2		2
知的障害	2		2
器質性精神障害	1		1

(8) 障害手帳保有状況

	1種		2種	計
	1級	2級		
男	12	3	0	15
女	4	0	0	4
計	16	3	0	19

(9) 障害程度(療育手帳判定による)

	A 最重度	A 重度	A1	A2	計
男	6	4	1	2	13
女	1	2	0	0	3
計	7	6	1	2	16

(10) 障害支援区分

	区分1~4	区分 5	区分 6
男	0	1	15
女	0	0	4
計	0	1	19

(11) 日常生活状況

- ・ 移動 ※ 自力歩行、自助具を使用される方は、車椅子も併用している。

	車椅子使用	自力歩行	補助具移動	半介助	全介助
男	15	1	1	2	14
女	4	0	0	0	4
計	19	1	1	2	18

- ・ 排泄

	自立	見守り	全介助
男	0	2	13
女	0	0	4
計	0	2	17

- ・ 食事

	自立	見守り	半介助	全介助
男	0	2	1	12
女	0	0	3	1
計	0	2	4	13

- ・ 食事形態 ※ 口からの摂取と経管栄養の併用有り

	普通食(一口)	刻み	ペースト(重複)	経管(胃瘻)	経管(鼻腔)
男	3	0	12(5)	4	1
女	3	0	1(1)	1	0
計	6	0	13(6)	5	1

- ・ 医療的ケア状況

	口腔内吸引	気・切吸引	胃瘻	鼻腔	導尿
男	6	0	4	1	1
女	1	0	1	0	1
計	7	0	5	1	2

2、職員の状況

(1) 就退職状況

2019年度新規採用者 男性 0名 女性 0名
 平成30年度内退職者 男性 1名(委託運転士) 女性 1名

(2) 職員状況

職名	正規職員		パート職員		業務委託職員		計
	男	女	男	女	男	女	
施設長	1						1
サビ管		1					1
支援員	1	5	1	8			15
看護師		1		1			2
事務員				2			2
調理員				2			2
運転士			1		1		2
計	2	7	2	13	1		25

※支援員の常勤換算人数 11人

6、業務内容及び活動内容

◎運営

支援におけるすべての内容が、正確に機能するように提案、管理、調整を行う。

なかまの生活全般に関しては現状を把握し、定期的な会議に加え、必要時には臨時に会議の時間をとり、早めの対応と職員間の共通認識のもと、協力体制を整えていく。

〈総務部〉

◎広報

広報『あじさい』を発行し、あじさいの家の取り組みや行事などの案内を地域の方や様々な団体に知らせていく。また、施設内掲示板や屋外掲示板なども定期的に更新し、なかまや家族、訪問者等が見て楽しんでもらえるような内容となるよう工夫して作成していく。

◎施設管理

施設建屋、施設敷地内のすべての備品等を総括して管理する。安全・防災と連携し施設内の安全点検をもとに、破損箇所等があれば計画的に修理を行うことも含め管理を行う。事態によって大規模修繕が必要な場合は、いなべ市とも協議を行い改善していく。

また、旧あじさいの家の建屋及び敷地も定期的に点検し管理する。

◎防災管理

施設内の防災システムを総括して管理する。今年度より短期入所事業の開始により、スプリングラーの管理も有限会社アシストと連携し併せて行う。

また、保護者や地域との連携を図りながら、様々な災害に対応できるように、独自の備品の整備をより充実させると共に、避難訓練や研修会の開催、災害備品のリストの策定などに取り組んでいきたい。

◎車両管理

施設保有の車両を管理し、運行の安全を確保する。車検の時期も的確に把握し、送迎業務の影響が最小限になるよう管理する。また運行表もチェックしながら燃料補給の状況や、消耗品の交換等の時期を明確にするなどし、車両の安全運行を図る。昨年度に引き続き車両の取り扱いについては、職員一人ひとりが注意するよう啓蒙し、故障を事前に防ぐようにも努めたい。

また安全・防災と連携し、不測の事態へ対応できるよう訓練を行ったり、緊急時対応マニュアルの整備を行う。

〈支援部〉

◎行事

今年度もなかま一人ひとりが主役になれる誕生会や、季節の移り変わりを感じられ楽しめるような活動になるよう工夫し実施していきたい。また、初詣やイルミネーション見学など外に出かけるものについては、なかまの体調や気候・天候に配慮して実施していく。

◎交流

これまで行なってきた地域との交流や関わりを大切にし、新しい出会いの場となるような機会も大切にしていこう。多くの体験が出来る場や社会参加の場として積極的に取り組んでいこう。
また、参加にあたっては、なかまの体調には充分留意する。

◎実習

今まで同様、積極的に受け入れていこう。年齢や目的、立場が違っていても、なかま、実習生、職員それぞれが意味のある時間となるように配慮し計画していこう。

◎安全・防災

毎月の安全点検と年二回の避難訓練を実施し、危険場所・不具合箇所の見直しと消火設備の点検や避難経路の確認を行なう。緊急時において、自力避難が困難ななかまが、安全に避難できるよう、様々な場面を想定した訓練を行ないたい。

また、今年度より短期入所事業が始まるため、宿泊時の緊急対応等、職員間で共通理解の必要がある。

◎医務・健康

なかま一人ひとりが、心身ともに安全で楽しい活動が送れるように健康管理を行う。また、家族・職員間の情報交換を行ない、体調不良などを早期に気付くよう努め対応する。

医療的ケアが必要ななかまに対しては、職員間で連携をとり、共通認識を持ち、事故の無いように細心の注意を払い安全に留意し実施する。

◎研修

職員のスキルアップを図ることで、なかまが心身共に健康で過ごせるように研修を行っていこう。なかま一人ひとりの特徴や障がいについて共通理解をすることや、基礎的な内容においても職員全体で確認していこう。

又、施設外研修についても積極的に参加し、フィードバックの時間を確保することで、全職員で取り組める研修としたい。

【生活介護】

◎活動

今年度は活動の内容を見直し、「創」「楽」「動」と大きく3つに分け、それぞれの目的を自由な発想で取り組んでいこう。決められた枠にとらわれることなく、なかまの出来ることや思いにしっかりと寄り添い、充実した活動の時間としていきたい。

また、人形劇は単独の活動とする。

○創

創る過程を楽しみ、達成感を感じられるような活動にしていきたい。クッキー作りも継続して行なっていこう。また、あじさいの家まつりをはじめ、なかまが売り子となって売る雑貨商品の製作も一年を通して行なっていきたい。

○楽

文字通り、楽しむ事を目的とし、いろいろな活動を取り入れ、一人ひとりが自由な形で楽しみ、時には気分転換やリラックスが出来る活動にしていきたい。

○動

体を動かす活動とし、気候の良い時期には散歩に出かけたり、遊具を利用するなど季節に合った活動を行なう。

なかまが毎日元気に過ごせるように体に触れる訓練の時間を持つ。外部から講師を招き、研修した内容をフィードバックし、職員全体のスキルアップを図る

○人形劇

今までは活動の一つとして取り組んできたが、機材も充実しつつあり、以前から研修で行っている飯田人形劇フェスタ参加に向けての準備を進めていくうえで、人形劇団として活動を意識していきたい。

また、地域交流会や対外的行事といった社会参加に関わる活動なので、一つひとつの機会を大切にしながら積極的に行なっていきたい。

【日中一時支援】

今年度も入浴サービスを中心に行なう。基本は日中活動後週2回(月・水)実施するとともに、緊急時には迅速な対応が出来るよう、職員の配置を整え、なかまが安心して利用しやすい体制で行なう。

【短期入所】

今年度より夜間の緊急時の対応として、短期入所を行うこととなった。定員は2名とし、24時間、365日対応とする。日中一時とともに迅速な対応が取れるように、職員同士の協力体制、共通理解をしっかりと持ち、保護者との連携をはかり安心して利用できるように取り組んで行く。

〈事務部〉

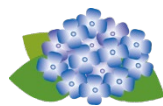
◎庶務

PCの増設と環境整備を行ったので、電子文書形式も含め施設内の文書管理及び備品、消耗品等の管理を行う。消耗品については、在庫量にも配慮し、日常の施設運営や活動に支障のないよう努める。

◎経理

各帳簿整理と小口現金等の出納を管理し、施設会計及び法人本部会計等、すべての会計管理業務を行う。チェックは他の職員も関わり透明化を図る。今年度も引き続き菊山会計事務所と連携し、明瞭で確実な業務に努める。

2019 年度



あじさいの家